

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書（実績）

提出区分		実績	整理番号	6	課題区分	C	令和7年(2025年)3月19日 南信州地域振興局
横断的な課題		高速交通網開通の効果を地域づくりに最大限に活かす基盤整備					
地域重点政策		高速交通網開通の効果を地域づくりに最大限に活かす基盤整備					
実施機関		南信州地域振興局			担当課	所属	リニア活用・企画振興課
事業名		南信州とのつながり創出事業				電話	0265-53-0401
						E-mail	minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	南信州の魅力を市町村及び広域連合と連携して、効果的に発信することで当地域への興味関心を持ってもらい、ファンになってもらう。これにより、当地域のつながり人口や移住者の獲得を目指していく。					
	現状と課題	<現状> ・当地域の移住者やイベント参加者は中京圏からの方が多く、首都圏での南信州の知名度が低い傾向にある。 ・管内には小規模町村が多く、町村単位の取組では発信力が弱いいため、十分なPR活動ができていない。 <R5年度実績> ・U Know ?Market vol.2(令和5年9月23日(土)、下北沢 BONUS TRACK) アンケート実施人数:102名(うち南信州を訪れたことのある人の割合22%)、南信州暮らし応援隊のブース訪問者:56名 ・南信州フェア /南信州(令和5年12月16日(土)、銀座Nagano) イベント参加者:20名、アンケート回答者:14人(うち南信州に來たいと答えてくれた方の割合100%) ・まるごと南信州フェアin新宿・2024冬(令和6年2月7日(水)～9日(金)、JA東京アグリパーク) 移住相談を行った方の人数:10組、就農移住相談ブースに訪れた方は期間中、100人以上いたが、ほとんどが観光メインの情報収集であった。 <課題> 市町村、広域連合、地域振興局で構成される南信州暮らし応援隊による都市部でのイベントに取り組み、まずは『南信州』を知ってもらう必要がある。また、つながり人口を生み出す、地域の人材(キーパーソン)にはどのような方がいるのか発掘調査し、地域とつながりたいが何から始めていいかわからない人材(つながり人口予備軍)とのマッチングに活かすことで、つながり人口を増やしていくことが必要である。					
	内容 (変更後の内容)	・広域連合及び民間団体が主催する相談会への参加及び、南信州暮らし応援隊(南信州地域振興局、南信州広域連合、管内市町村で構成)が参画する、南信州担い手就農プロデュース主催の首都圏で開催される移住者増に向けた情報発信イベントへの参加。 ・つながり人口を生み出す、地域の人材(キーパーソン)の発掘調査及びつながり人口創出のための連携方法等についてのヒアリングの実施。 ・キーパーソン同士のつながりを目的とした、意見交換会の実施。 ①【まるごと南信州フェアin新宿・2024夏の陣】 南信州担い手就農プロデュース主催の、首都圏で開催される移住者増に向けた情報発信イベント。主に就農を希望される方を対象に南信州の農業の情報発信や就農・移住相談を受け付ける。農産物の物販も併せて行い、南信州での就農を認知してもらうきっかけとする。 1 開催日 令和6年8月7日(水)～9日(金) 2 開催場所 JA東京アグリパーク ②【南信州ウィーク】 名古屋に新たにオープンしたランドマークである「新中日ビル」を活用した南信州プロモーションイベント(南信州広域連合主催)へ移住相談スタッフとして参加する。 1 開催日 令和6年9月11日(水)～16日(月・祝)※うち、参加するのは9/14(土)・15(日)の2日間 2 開催場所 新中日ビル ③【南信州移住相談会】 南信州広域連合が主催し、南信州の市町村が出展する移住相談会へ南信州暮らし応援隊の事務局として参加する。 1 開催日 令和6年11月9日(土) 2 開催場所 名古屋市吹上ホール ④【キーパーソン調査発掘事業】 つながり人口を生み出す地域の人材(キーパーソン)に対して、インタビューを行い、その人となりや活動内容をまとめる。キーパーソン同士の横のつながりを生み出すため、意見交換会を実施する。 1 期間 令和6年6月～2月頃 2 対象者 南信州地域の人材(キーパーソン) 10人～15人程度 ⑤【移住情報パンフレット「南信州移住宣言」の増刷】 昨年度、情報を更新し、増刷したパンフレットを③【南信州移住相談会】で来場者へ配布するとともに、銀座Nagano、名古屋事務所移住デスク、大阪事務所移住デスク、ふるさと回帰支援センターへ追加配布する。					
事業期間		令和6年6月 ～ 令和7年3月					

事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	南信州魅力発信イベント③への職員出席	公用車ETC使用料	7,860	3,930円×2(往復)=7,860円③	
	南信州魅力発信イベント③への職員出席	公用車ガソリン代	5,000	飯田市内～吹上ホール(往復)③	
	南信州魅力発信イベント①②への職員出席	職員旅費(高速バス代・交通費・駐車代)	22,400	10,300円×1人① 7,000円×2人②	
	移住パンフレット増刷費用	印刷代	50,000	130部(オンデマンド印刷)	
合 計			85,260		
指標及び達成状況	成 果 指 標		目 標 値	成 果	達 成 状 況
	①まるごと南信州フェアin新宿・2024夏の陣 就農・移住相談者		7組	1組2名	一部達成
	②南信州ウィーク 移住に関する情報を提供した方		7組	20組	
	③南信州移住相談会 相談者		10組	8組12名	
	④キーパーソン調査発掘事業 キーパーソンデータ		14件	17件	
事業実績・成果	①【まるごと南信州フェアin新宿・2024夏の陣】 来場者数は延べ1,770人であったが、具体的な移住・就農相談は1組のみであった。しかし、この方は他の就農イベントにも訪れており、移住可能性が高くなっている。また、首都圏の多くの方に南信州を認知していただき、魅力をアピールすることができたため、一定の効果が感じられた。 ②【南信州ウィーク】 移住に関する情報を提供した方は20組となった。多くは移住を具体的に検討している方ではなかったが、南信州地域の出身者や将来的に移住を検討している方がいたため、情報提供の意味があったと考えられる。 ③【南信州移住相談会】 相談者は8組12名と目標を下回った。南信州地域単独での移住相談会では多くの来場者や相談者は見込めないが、具体的に南信州への移住を検討している、本気度の高い方が中心となるため、1件あたりの相談時間が長くなる傾向にある。今回の相談者についても移住の可能性は高いと言える。 ④【キーパーソン調査発掘事業】 17組のキーパーソンへインタビューを行い、17件のキーパーソンデータを集めることができた。そのうち12件のインタビュー内容を年度内に局公式Instagramへ投稿し、平均58いいね！を獲得した。2/26に市町村担当者を交えた交流会を行い、意見交換や今後の活動における連携の可能性を探ることができた。 ⑤【移住情報パンフレット「南信州移住宣言」の増刷】 昨年度、更新したパンフレットを増刷し、南信州移住相談会で来場者へ配布するとともに、銀座Nagano、名古屋事務所移住デスク、大阪事務所移住デスク、ふるさと回帰支援センターへ追加配布を行った。				
今後の方向性	引き続き、キーパーソン調査発掘事業を行い、南信州地域で活躍する魅力的な人材の掘り起こしと、その方の活動内容や人となりを発信していく。加えて、キーパーソンと都市部の若者をマッチングさせるイベント等、直接的に関係人口創出につながる取組を行う。 これらを通じて、キーパーソン起点で地域に何度も訪れる方(ファン)を増加させ、地域課題の解決における人材の確保や伝統文化や産業における担い手の確保につなげていく。				